



—純美禮—

純…純真な心で友情と連帯を深め合う
美…美しい心と姿で環境を明るくする
禮…礼儀正しく、高校生としての秩序を守る

第107号

P & T 通信

編集・発行

滋賀短期大学附属
高等学校
保護者と教師の会
大津市朝日が丘1-18-1
TEL.077-522-3465



入学式 (4月7日)



体育祭 (6月15日 皇子山陸上競技場)



文化祭 (8月31日 大津市民会館)



文化祭 (9月1日 本校)



生徒会選挙 (10月18日)



1年校外学習 (10月13日 神戸防災学習)

2023年
この1年



2年修学旅行
(10月12日~15日 研修旅行@北海道)



3年校外学習 (10月13日 神戸散策)



シアターラーニング (11月24日)



針供養 (12月8日)

卒業生の皆様へ



保護者と教師の会
会長
宇野 浩一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうござい
ます。そして、保護者、ご家族の皆様、
お子様のご卒業、誠にめでたうござい
ます。

滋賀短期大学附属高等学校での学校生
活いかがでしたか。充実した高校生生活
送ることができましたか。振り返れば三
年間という、長い人生のごく一握りの時
間の中で仲間と勉強や部活動、課外活動
などかけがえのない経験をされ、たくさ
んのことを感じたことで見違えるように

立派に成長されたことでしょう。

皆様はコロナ禍の中で入学され、様々
な制限の中で高校生活がスタートし、た
くさんの不安があったことでしょう。し
かし、先生方の温かい支えもあり仲間と
共に協力しながら過ごすにつれ不安な
日々は楽しい日々へと変化し、最終学年
では、体育祭や、文化祭を制限なく開催
することができたことは、一生の思い出
となったことと思います。

これからそれぞれの目標に向かって新
たな道へ進まれます。感謝の気持ちを忘
れず本校で学んだことを糧にして胸を
張って次のステージで大いに活躍して
ください。そして、楽しんでください。

最後になりますが、卒業生の皆さんに
心からの祝福を贈り、そして、輝く光が
未来を照らし続けることを祈念しご挨拶
とさせていただきます。

三年間を振り返って

卒業生代表 小森 美耶

今振り返ってみると、滋賀短という
学び舎で過ごした高校生活というのは
あつという間でした。

不安と緊張感でいっぱいだった1年
生、たくさんの友人ができた2年生
友人との時間を大切にしようと思えた
3年生。滋賀短で過ごした日々はかけ
がえのない宝物です。人は別れを知っ
て初めて仲間の大切さに気づきます。
在校生の皆さんには今しかない高校生
活一日一日を大切に過ごしてほしいで
す。

友人たちと登下校していたあの坂
道、毎日の授業、友人との他愛もない
会話、目標を持って毎日の練習に励ん
で

だ部活動。後悔したことや、時には涙
する時もありました。ですが、もつ時
を戻すことはできません。それでも私
たちは夢や目標に向かって歩み続けな
ければなりません。この3年間で学ん
できたことや思い出を糧に、最後まで
諦めずに精一杯突き進んでいきます。
最後になりましたが、これまで支援
してくださった先生方、友人、家族、
在校生の皆様、本
当にありがとうございました。これ
からの母校の益々
の発展を心からお
祈り申し上げます。



「こうしていただける

自分」を愛おしみ



校長
小林 昌彦

「想定外」「異常気象」など、通常では
考えられない事態に遭遇したときに使わ
れる言葉が日常化しています。本来なら
特殊であるに違いない事柄が、私たちの
生活と隣り合わせにある、この現実を思
うとき、今、自分が自分を保ちながら前
に進んでいられることを心から愛おしみ

たいと思います。この令和五年度はそん
な気持ち強くする一年でもありまし
た。そのような時代にあつて、晴れてきよ
うの良き日を迎えられた二百二十一名の
卒業生の皆さん、本当におめでとうござ
います。保護者の皆様方におかれまして
は、ここまでの道のりの長さとお子様の
成長がりとを実感されておられること
と思います。きょうまでのご支援に対しま
して、教職員を代表して、心よりお礼を
申し上げます。

今年度は思いを伝える機会があれば、
「幸運を手にするためには、その条件を
自分で作り出すこと、つまり十分な下ご
しらえをする必要があります」という話
をしてきました。下ごしらえは誰に見え
るものでもなく、結果と連動する保証が
あるものでもありません。そこにあるの
は「求める結果を信じて」という自分に

向けられた思いのみです。卒業生の皆さ
んはそれを実践されたのではないかと
思っています。

自分の力で一歩を踏み出せば、あなた
を待つゴールには間違いなく一歩近づき
ます。何歩歩めばゴールできるのかなど、
誰にもわかりません。それは厳しくつら
い現実ですが、見方を変えれば、「だか
ら諦める必要などない」ということなの
だと思っています。この三年間で皆さん
が歩んでこられた道のりは、どの一歩も
財産です。時には後ろ向きに歩いたこと
があったかも知れませんが、しかしそれも
今のあなたを支えている一歩です。そん
な積み重ねがあったことを大切にしてく
ださい。

明日から進んでいく場所はそれぞれで
す。その場所を、自分を愛おしめる場所
にしてください。それぞれの分岐点で、

自分が進んだ場所が正解なのです。その
ために、一つだけ心にとどめてほしいこ
とがあります。あなたの隣にいる人に優
しく寄り添うことです。それだけで、あ
なたの進んだ場所は潤いを生むに違いあ
りません。そして、疲れたときは、この
純美禮坂を登って、学び舎の空気に触れ
てください。あなたが残した三年間が何
かを語りかけてくれるはずですよ。

保護者の皆様には改めて本校にいただ
きました多くのご厚情に感謝申し上げます。
時代の不透明さは次世代を担う若者
には大きな不安であると思います。どん
なときもそばにいて見守り続けていただ
きましたように、これから先も卒業生が
自立的な依存が叶う存在として、一緒に
進んでくださるようにとお願い申し上
げ、感謝の言葉といたします。

各学年のこの一年

1年生

一学年主任 乙須 一心

入学式から早くも、1年が経過としていきます。様々な制約がある生活からは、少しずつ改善されてはきましたが、無事にこの1年を終えることができることに安堵しております。

この1年は「あいさつ」「仲間づくり」「人を笑顔にする行動・言動」を目標に掲げてスタートした第1学年です。4月には、B&Sにてカッター体験やチームビルディングを行いました。まだまだごこない様子ではありましたが、各クラス、一つになろうとお互いに声をかけあう姿に感動しました。また、ピアン力乗船では、クラスの枠を超えて、レクリエーションを行い、みんなで笑顔に包まれ、和やかな時間が流れていました。

6月には湖嶺祭体育祭をウカルちゃんアリーナ（県立体育館、皇子山陸上競技場にて行いました。練習時間から各クラス、男女分け隔てなく、協力し合える姿や励ましあう姿が垣間見え、本番当日では、どのクラスも優勝に値する活躍を見せてくれました。また、先輩たちの姿を見て、感動している様子が今後楽しみにあります。



夏休み明けには湖嶺祭文化祭を大津市民会館、本校にて行いました。合唱コンクールでは、選曲から振り付け、響かせ方など工夫を凝らし、



どのようになれば、すばらしいハーモニーになるかを考え披露することができました。各クラスともに緊張の中の演技でしたが、練習よりもよい合唱になったと思います。また、模擬店では、

来てくださるお客様に対してどのようなおもてなしをするかを考え、学校全体が笑顔に包まれる空間の中、行えたことに感謝しています。

10月には「人と防災未来センター」へ行きました。阪神・淡路大震災について知り、防災、減災への取り組みの必要性、「日常」の大切さを改めて感じました。また、神戸市内自由散策では、南京町で食べ歩きをしたり、写真を撮ったりと楽しい思い出をつくることも、グループ活動の難しさや計画を立てることの大切さに気づく姿が見られました。来年度の海外研修旅行では、より成長した姿を見せてくれることを期待します。

互いを気遣い、自主的に行動する「仲間」の輪が広がった一年でした。私たちを支えてくださるすべての方々の大切さを感じられる、みなさんの成長を、とても嬉しく思います。学校生活にも慣れ、余裕が出てくる時期です。さらに、周りのことを考え、思いやりの心を持ち、切磋琢磨できる関係を築いてほしいと思います。

2年生

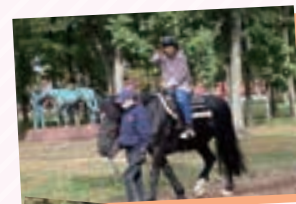
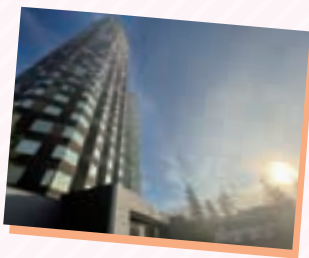
二学年主任 渡邊 雅子

一年生となり、類型・コース別に特色のある授業が展開されています。新カリキュラム・新コースの第一期生として、前例のない体験をしつつ、滋賀短の中堅学年として日々を過ごしています。各々が自分に向き合い、勉強や課外活動に、より真摯に向き合う一年でもありました。

今年度の一番大きな学年行事は、なんと言っても研修旅行です。この旅行を成功させるため、一年次からグループ活動を行ってきました。二年生になってからは、各クラスの研修旅行委員を中心に探究活動を行うことで、「研修」として充実させることができました。研修旅行は、班決め、

散策計画、探究内容など、様々なことを決めないと成り立ちません。思い通りにならないことも発生します。集団で行動することの難しさを感じながら、自分達で話し合い、計画を組んだからこそ、充実した旅行にできたのではないのでしょうか。

しおりに書き込まれた感想に、それぞれの満



足感が見受けられました。

旅行後の探究活動の発表も、北海道でのフィールドワークがあつてこそのもので、一年次のプレゼンテーションよりも内容の濃い、工夫された発表でした。

自然体験や観光コース、食事の場所などを選択制や自由行動にすることは、「好きなことを楽しんでほしい」という思い以上に不安がありました。しかし、皆が時間を気にしながら行動し、お互いを気遣い合うことで、怪我や病気もなく四日間を過ごすことができました。すばらしい「集団としての姿」でした。入学当初計画されていた海外研修旅行から予定は変わってしまいましたが、一年次に学年目標に掲げた「仲間」、今年度の目標「自立（自律）」と「協働」を体現することができました。今後は最上級生として、その姿を後輩に示していけることを期待しています。



三学年主任

保木 淳

「ありがとうございます。」

「ありがとうございます。」

「ありがとうございます。」この一言がこの2年間の色々な思いが詰まっています。思い返せば、この学年が第2学年に進級する直前にこの学年の学年主任となることが決まりました。今まで、担任の経験はあれども学年主任という立場は初めてであったため、その責任の重さややりがいを同時に感じたことを覚えています。そして、最初の学年集会で生徒達のまえで話したことは「今日の朝目覚めた時から、心を切り替えてきました。今日からは、君たちのことで笑い、怒り、哀しみ、楽しむ。教員として働く心の中心に君たちを思う。これが心を切り替えることだと思つので、今から卒業までそういつつで学年主任という立場を全うしたいと考えています。そして、3年生の終わりには全員が進路が決まり、卒業するときに次のステージを見据え、前向きに進んでいく学年になるように共に進んで行きましょう。」という事ですね。

実際、この2年間は授業のほとんどもこの学年に入り、学校行事も全て一緒に活動してきました。その中で感じたことは、中学校生活の最後から、新型コロナウイルス流行を受け本来であればもっと大きな声を出して、色々な人たちと活動し、楽しむことで育まれ

る集団への帰属意識とか、仲間を想つ心とか、周りを見ながら考えていく自己実現への欲求などが薄いなという事でした。それを感じ、学年主任という立場として、何よりもそついった力を育みたいと考えました。そのためには、「学校って楽しいな。」そついった思いが心の中に育まれることが第一歩であると考え、校外学習やクラスでの活動、集団での活動等を重視し、たくさんさんの学年集会を開催することで、中学校からの2年間で「密だからやめておこう」とされていたことをたくさん行いました。学校生活の楽しいとされることの多くは「密が必要」とされます。私たち教員も、保護者の皆様もそついった中で楽しみ・哀しみ・考えて成長してきた、その時間を生徒達に与えてやりたかった。そついう2年間で書いたことや、伝えたいことはまだまだありますが、卒業式当日に保護者の皆さんと色々話をしたいと思つていますので気軽に話に来て下さい。2年間、この学年の活動に対して大きな理解を示して頂き本当にありがとうございました。たった一言になります。本当に「ありがとうございます。」ございました。



校内塾

今や学力試験を伴う入試を選択する受験生の数は全国的に少数派になりつつあります。そんな中、敢えて「学力重視型試験」を選んだ令和5年度校内塾生71名。当たり前で



が、順風満帆な受験生を過ごせる人などこの世には存在しません。本校の生徒も例外ではなく、彼らの船出は熱意には満ち溢れていたものの、多くの荒波に揉まれてきました。理想と現実のギャップに葛藤したり、周囲との差に劣等感を感じたり、時には自分の不甲斐なさに涙を流したり。今年も多くの塾生と面談を重ね、保護者の方にもご協力をいただきながら、なんとかここまで漕ぎ続けることができました。同じ学力重視型入試という手段を選んでも進路決定に行きつくまでには校内塾生の数だけストーリーがあります。そんな一人ひとりの努力の結果を共有できることを光栄に思います。生徒の頑張りのおかげ、今年度の公募制推薦入試では京都産業大学や龍谷大学を始め、数多くの中堅私立大学の合格を生徒が手にしました。2月以降の一般入試においても立命館大学や関西大学など難関私大の合格を勝ち取っている生徒もいます。令和5年度の校内塾もいよいよ最終盤をおかえています。一般入試の後期日程を受験する3年生を最後までサポートしていきます。

さて、校内塾では現2年生に対してスタート講習を実施しています。また、次年度の学力重視型入試に挑戦したいと考えている2年生と面談を行っています。なぜその進路なのか。自分はどうなりたいのか。そして、本当に1年間の勉強を続けることができるのか。自己分析を徹底的に促すことを通じて、生徒にとって最も良い道と一緒に模索していきたいと思っています。

会員研修

教育総務部 助 國 晟也

令和五年十月二十日（金）、研修委員会企画として、大学訪問および北野天満宮参拝を行いました。新型コロナウイルス対策の行動が緩和されたことにより、従来の大学生活が垣間見えしました。

午前中は京都橘大学を訪問し、職員による学部学科の説明や大学生によるキャンパスツアーがあり、学校の特色について聞くことができました。落ち着いた雰囲気の中で、伸



び伸びと大学生活を送っている大学生の様子印象的でした。また、大学卒業後の進路や就職活動についても手厚いサポートがなされていると感じました。

次に、北野天満宮を参拝し、合格祈願など様々にお祈りをいたしました。その後、昼食会場へ移動し、日本料理を堪能いたしました。

午後は京都産業大学を訪問しました。職員と大学生による学部学科の説明や、キャンパスのツアーがありました。大規模の文理融合の総合大学のため、学生の多さと一つひとつの建物の大きさが印象的でした。学生同士の交流が盛んで、一人ひとりの大学生が将来の目標をもって日々学んでいると感じました。

三学年だけでなく、一・二学年の保護者様にもご参加いただき、ご家族で進路について話をするきっかけにもなると感じております。令和六年度も研修委員の方々と計画をし、会員研修を行います。



すみれサロン（ハンドメイド制作）

募集企画部 木部 遥

失敗のない手仕事案内人ヨシダユミコ先生をお招きして、午前中はダーニング刺繍を行いました。破れてしまったものも少し手をかけて繕うことで、息を吹き込むことができる。そんな衣服をそだてる。という新たな価値観に出会い、お直しをした

ものに愛着をもつという日頃意識しない大切な感覚に気づかせていただきました。

午後からは、ベルフルールめぐみ先生をはじめ講師の方々をお招きし、しめ縄づくりを行いました。用意していただいた材料から「どれを選ぼう」と参加者どうしで話をしたり、色合わせや水引のバランスを互いにアドバイスしながらつくりあげていく工程がとても楽しく、終始にぎやかな空間でした。完成したしめ縄を並べて見ると圧巻なほど美しく、それぞれの作品に個性があることも感じ、一人では得られない充実した体験ができました。





体育祭

卒業される先輩方へ

現生徒会長

丸橋 尚桜

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年間の高校生活でたくさん
 のことを学ばれたと思います。
 私も先輩方からいろいろな
 ことを学ばせていただきま
 した。先輩方の姿を見て学ん
 だことや教えていただいたこ
 と、先輩方の気持などを引
 き継いで、これからの学校生
 活を送っていくと思います。
 四月から新生活が始まりま
 す。今までと違う環境で不安
 になることもあると思います。
 それも全て夢を叶える第一歩
 です。先輩方なら大丈夫だと
 信じています。自分の夢に向
 かって頑張ってください。応
 援しています。





保護者からみんなへのメッセージ

色々な経験や体験の出来た
高校生活、部活動と充実した
滋賀短での三年間を過ご
せて良かったね。
本当にありがとうございました。

こんなに勉強をするように
なるとは驚きです。
先生方、お友達に感謝ですね。

卒業おめでとう。
夢に向かって
頑張っ！

楽しい高校生活お疲れ様でした！
この3年間の成長はびっくりです。
関わってきた、友達、先生への感謝
を忘れずに進んでください。

最後に全国大会行けたね！
かっこよかったよ！

沢山走って怒られて泣いて
笑って忙しい高校生活やったね。
走る姿は凄くステキです！
滋賀短で凄く成長させてもらいました！
これからも応援します！頑張っ！

3年間楽しく学校に通ってくれた事が
親として何より嬉しい事でした。
先生方、お友達に感謝です！
春からは、夢に向かって頑張っ！
あなたなら必ず出来る！

何でも精一杯チャレンジして、
たくさん失敗して、成長の糧に
してください。
いつまでも応援してるよ。
卒業おめでとう！

休まずよく
頑張ったね！
三年間ありがとう
ございました。

自分で決めた道をしっかり
歩いてってください。
夢は信じればきっと
かないます。

頑張っ！登校でき、
看護師になるための
学校に受かって
よかったね。
看護学校大変だけど
頑張れ

文武両道
よく頑張った！
スゴイよ！

最後まで、部活動を
続けられました。
よく頑張りました。

卒業おめでとう。高校3年間、
勉強に部活そして早起きも(笑)
頑張ったね。
本当にお疲れ様でした。

部活で近畿大会出場
おめでとう！仲間と
一緒にたくさん
頑張っていたね。

軽音楽部に入部して、電子ドラムが欲しいって
聞いた時はビックリしたけどね。
スティックだけで良いと思ってたし(笑)
楽しそうに一生懸命練習していたね！
3年間お疲れ様でした！

辛い日々もたくさんありました。
先生方へは感謝の気持ちでいっぱいです。
そして、あなたの頑張りに拍手を送ります。
本当によく頑張ったね。おめでとう。

第一志望の大学合格おめでとう。

部活動しながらの生徒会活動、
よく3年間頑張りました。

個人的な活動に理解していただいた
おかげで将来に向けての方向性が
見えてきました。ありがとうございました

滋賀短との縁に感謝して
います。彼氏にしたいな
と思える男になってくれ
ました。

卓球部、念願の近畿大会出場、
よく頑張りましたね！

担任の先生や部活の顧問の先生をはじめ
沢山の先生方が温かく見守って下さった
お陰で卒業出来ます。
本当にありがとうございました

進路も決まりおめでとう！
後僅かな高校生活楽しんで
ね！

受験勉強頑張ったね。
大学生生活楽しんで下さいね。

沢山のお友達に出会い、
充実した学生生活を送る事が
出来たと思います。
毎日部活良く頑張りましたね。
部長もお疲れ様でした。

ダンス発表会での
パフォーマンス最高でした！
1番の思い出になったね！

三年間、本当に
よくがんばり
ました！

最高の仲間と素敵な
先生方との出会いに
感謝

楽しく学校生活が送れてよかった。
これからは自分の決めた道、
後悔のないよう歩んでください。

君に幸あれ。

あっという間の
3年間でした。
卒業おめでとう。

文化祭のステージ
かっこよかったよ！

大学でも仲間に
恵まれるためには、
相手を思い遣る
気持ちを大切に
して下さい。
クラブ推薦おめ
で！
運も実力！

いい友達や先生に恵まれて感謝
ですね。これから色々な事に
チャレンジして広い視野を持つ
人になって下さい。

一人で最後まで
良く頑張ったね。

3年間楽しく高校生活
を送ることができて
良かったね。

志望校合格に向けて、
導いてくださり
ありがとうございました！

卒業おめでとう！
3年間とても充実して
過ごせたね。

笑顔いっぱいの
高校生活をありがとう？

卒業おめでとう！
高校生活お疲れ様でした。
次の目標にむかって後悔の
ないよう進んで行ってね！
いつでも応援しています。

沢山の友達と
出会えて
良かった！！

充実した3年間が
過ごせて良かった。
これからも頑張れ！

沢山の発見と成長が
あった三年間でしたね！
感謝の気持ちを
忘れずに！

いい友達に
出逢えて
良かったね

良いお友達に恵まれ楽しい
3年間を過ごすことが
できてよかったね！
卒業おめでとう！

良いお友達、良い先生に巡り会えて
良かったです！自分ではフラフラ
してしまう子でしたがしっかり見て
いただき大学も決まりました。
本当に感謝です！

卒業おめでとう。
毎朝余裕を持って、早目に
登校出来た事は、本当に良く
頑張りました。
春からの学生生活も、将来の
夢に向かって、有意義な
毎日になる様に、応援するね。

感謝を伝えて損はないよ
感謝は互いに得になるよ^^
親への感謝忘れるな！

子どもの気持ちに寄り添える
優しい保育士さんになってね！

2023 (令和5) 年度 滋賀短期大学附属高等学校 進路実績 (のべ合格数) 2024年2月19日時点

Table with 2 columns: 地域 (滋賀) and 学校名. Lists university enrollment data for 2023, including 4-year public and private universities, and 2-year junior colleges.

Table with 2 columns: 地域 (大阪, 兵庫, 奈良, 三重, 愛知, 岐阜) and 学校名. Lists university enrollment data for 2023, including 4-year public and private universities.

Table with 2 columns: 地域 (滋賀, 京都, 大阪) and 学校名. Lists enrollment data for 2-year junior colleges.

Table with 2 columns: 地域 (滋賀, 京都, 大阪) and 学校名. Lists enrollment data for nursing specialized schools.

Table with 2 columns: 地域 (滋賀, 京都, 大阪, 奈良, 愛知) and 学校名. Lists enrollment data for other specialized schools.

Table with 2 columns: 地域 (滋賀, 福井) and 就職先. Lists job placement data for graduates.



大学入試易化時代に おける進路選択の軸

進路指導部主任 加藤 陽介

この原稿を書いているのは二月上旬で、大学の一般選抜試験の可否発表よりも前のことです。今の時点でまだ三十名程度の卒業予定者の進路が定まっています。そのことをお断りした上で、今年度の進路の様子についてお話ししたいと思います。

- ・ 京都橘大、佛教大の延べ合格数が年内受験が終了した時点で過去最多を更新。
・ 滋賀短期大学への進学予定者が、五年ぶりに四十名を回復。

今年度の卒業生の学年は、全国の十八歳人口の落ち込みが特に激しい年であり、当初より入試の大幅な易化が予想されていました。それゆえ、中堅私大の合格記録が塗り替えられるのは想定内でした。ただ、看護学校の入試結果についてはさすがにインパクトが大きいものでした。さて、大学入試易化時代における進路選択の決め手とは何でしょう。この点を少し掘り下げて考えてみたいと思います。

- ・ 取れる資格、職業(「手に職」)
・ 興味のある学問分野
・ 学校の雰囲気、自分との相性
・ プラントとブライド

実は、本校生徒のうち四割を超え、人たちが「手に職」をつけることを目的に進路選択をしていると考えることができます。幼児教育や看護、美容師など、資格取得を前提に設置されている学校や学部に進学している人たちがこのタイプに分類されます。彼らにとっては学校選びよりもその前段階の、なりたい職業の選択

こそ重要です。大学などの上級学校にはあくまで「手に職」をつけるための手段として通います。学年全体で百名程がこの力テゴリーに入ります。

次に、学問に対する興味に導かれて学校を選ぶ人たちが一定数います。歴史学や外国語、バリエーション豊かな、関心領域が明確で、自分の好きなことを学びたくて大学に進学するタイプです。本校では毎年二十〜三十名程のほりです。

三つ目は学校と自分の存在との相性を重視するタイプです。オープンキャンパスに行ってみると、この典型です。実はこの人たちは学部・学科選びについてはある程度幅を持たせて考えることが多く、併願入試制度を使って同じ大学を複数回受験するケースも目立ちます。人数規模は五十〜六十人くらいです。

最後にブライドとチームパリティを最も重視するタイプで、本校においては決して多数ではありませんが、それでも三十名前後がこのタイプに当てはまりそうです。以上、本校の現実即して進路選択四つのタイプを紹介してきました。では、最後に、無制限とも思われる大学易化の時代が到来している今、この変化の影響を受けやすいのは一体誰なのかを想像していただけたらと思います。後ろの二つのタイプ、つまり三番目と四番目にあげた人たちがこの気になって来ましたが、両者に共通するのは、大学などの上級学校に行くことが自分にとって手段というよりも高校生段階では「目的」として理解されているという点。そして、その目的の中身を見てみると二つ目に紹介したタイプの人たちよりずっと曖昧であること

学歴競争や受験戦争が文字通りの競争であった時代、三つ目と四つ目のタイプに分類される人たちの現実の進路選択の姿と比べると、結局はとも似通ったものだったのではないのでしょうか。それはつまり、最終的に自分の学力に見合った学校を探すということだと思います。なぜなら、行きたい学校よりも行ける学校を探さなければ、自分の競争条件の下では、自分の相性に合う学校とはつまり、自分の学力の高さに合った学校のことであり、学校のブランドとはすなわち偏差値の高さで示されるものであって、それならこれもやはり学力の高さのことだからです。彼らは併願受験することをメリットとして捉えやすく、それゆえ一発勝負型の選抜試験で進路を実現する道を選ぶ傾向がとて高くなります。また、進学目的がとりわけ曖昧であるため、中身が抽象的で味気ない受験勉強との親和性も高く、いわば受験の世界の「模範生」として大切に扱われてきた存在でした。

しかし、これからはどうでしょう。入試に肝心な選抜の機能がとて弱まってきているのが近年の入試の特徴です。学校と自分との相性の問題を、文字通り相性として語るべき時代がやって来ましたが、厳しき言い方をすれば、このマッチングの問題を、学力の高さという話題にすり替えて語っても解決は得にくくなっていくのです。選抜の要素に支えられていた大学のブランドも今は自明なものではなくなっています。各大学の評価は様々な価値によって再編集され、更新され続けています。引き続き進路指導部は、お子さまが自分にふさわしい進路選択ができるよう支援と指導に邁進してまいります。今後ともご協力をお願いいたします。

部活動

活動報告

■ 体育部

2023年度7月以降の主な大会記録、出場記録を報告します。

【滋賀県秋季高校総体】

- バスケットボール
 - 男子 2回戦敗退
 - 女子 優勝 6年ぶり18回目
- 最優秀選手…西 梨花
- 優秀選手…杉浦 莉菜

ソフトボール

- 男子 バドミントン
 - 愛知高校・愛知高等養護との連合チームで出場
- 女子 バドミントン
 - 優勝

バレーボール

- 男子 陸上
 - 1500m 8位
 - 5000m 8位
 - 10000m 6位
- 女子 陸上
 - 3000m 6位
 - 5000m 6位
 - 10000m 6位

ソフトテニス

- 男子 ソフトテニス
 - 優勝
- 女子 ソフトテニス
 - 優勝

卓球

- 男子 卓球
 - 優勝
- 女子 卓球
 - 優勝

- 男子 剣道
 - 出場
- 女子 剣道
 - 出場

卓球

- 男子 卓球
 - 団体 出場
 - ダブルス 北村・間宮
 - ダブルス 木村・千原
 - 個人 出場
 - 個人 出場
- 女子 卓球
 - 団体 出場
 - ダブルス 木村・千原
 - 個人 出場
 - 個人 出場

【滋賀県民スポーツ大会】

- 男子 サッカー
 - 出場
- 女子 サッカー
 - 出場
- 男子 バドミントン
 - 優勝
- 女子 バドミントン
 - 優勝
- 男子 ソフトボール
 - ベスト16
- 女子 ソフトボール
 - ベスト8
- 男子 陸上
 - 1500m 3位
 - 3000m 6位
 - 4000m 7位
 - 8000m 8位
 - 15000m 8位
 - 30000m 8位
 - 50000m 8位
 - 総合 8位
- 女子 陸上
 - 1500m 3位
 - 3000m 6位
 - 4000m 7位
 - 8000m 8位
 - 15000m 8位
 - 30000m 8位
 - 50000m 8位
 - 総合 8位



ソフトテニス

- 男子 ソフトテニス
 - 出場
- 女子 ソフトテニス
 - 出場

卓球

- 男子 卓球
 - 2回戦敗退
- 女子 卓球
 - ベスト8
- 男子 卓球
 - ベスト8
- 女子 卓球
 - ベスト16

サッカー

- 男子 サッカー
 - 出場
- 女子 サッカー
 - 出場



その他の大会

バスケットボール

- 【SoftBankウィンターカップ2023 令和5年度第76回 全国高等学校バスケットボール選手権大会】
- 男子 2回戦敗退
- 女子 2回戦敗退

バドミントン

- 【第70回近畿高等学校バドミントン選手権大会】
- 男子 学校対抗 2回戦進出
- 女子 学校対抗 2回戦進出
- 男子 ダブルス 準優勝
- 女子 ダブルス 準優勝
- 男子 シングルス 優勝
- 女子 シングルス 優勝

【令和5年度第52回全国高等学校選抜バドミントン大会】

- 令和6年3月24、28日 滋賀県大津市にて開催 (滋賀ダイハツアリーナ)
- 男子 シングルス 優勝
- 女子 シングルス 優勝

【国体選手】

- 男子 山名 彩心・西谷 柚奈 派遣
- 女子 山名 彩心・西谷 柚奈 派遣

【第28回全国私立高等学校選抜バドミントン大会】

- 女子 学校対抗 ベスト16
- 男子 学校対抗 ベスト16

【JOC全日本ジュニアバドミントン大会】

- 男子 ダブルス 山名・西谷組 第3位
- 女子 ダブルス 山名・西谷組 第3位

【第72回近畿総合バドミントン選手権大会(一般の部)】

- 男子 シングルス 田中 美吹 出場
- 女子 シングルス 田中 美吹 出場

【第77回全日本総合バドミントン選手権大会】

- 男子 ダブルス 山名・西谷組 予選2回戦進出
- 女子 ダブルス 山名・西谷組 予選2回戦進出

【湖西ブロック夏季大会(男子の部)】

- 男子 シングルスB 2位
- 女子 シングルスB 2位

【湖西ブロック夏季大会(女子の部)】

- 男子 シングルスA 1位
- 女子 シングルスA 1位

【湖西ブロック冬季大会(女子の部)】

- 男子 シングルスA 1位
- 女子 シングルスA 1位

【第33回近畿私立高等学校女子ソフトボール選抜大会】

- 男子 ダブルスA 3位
- 女子 ダブルスA 3位

●バレーボール

【第42回近畿私立兵庫大会】

○女子 4部リーグ 優勝

●【国体選手】

○女子 岡島 彩奈・西村 涼花・塩見今日子
井上 茅香 近畿ブロック敗退

●陸上競技

【滋賀県駅伝競走大会】

女子 総合6位 近畿駅伝出場

男子 総合7位

●【県ユース選手権大会】

(3名近畿12種目入賞)

1年男子3000m MSC 2位 犬飼 勇人

1年女子5000m WW 2位 早尻 充春

2年女子5000m WW 3位 辻野 早香

(3名近畿ユース出場権獲得)

1年男子4000m 4位 井上 絢仁

1年男子2000m 6位 井上 絢仁

1年男子5000m 7位 犬飼 勇人

2年女子3000m 7位 辻野 早香

2年女子5000m WW 7位 坂本 朱音

1年女子4000m H 7位 兵等 結南

2年女子やり投 7位 川畑 日菜多

1年男子800m 7位 安本 拓夢

1年男子1000m 8位 安楽 宝児

1年男子トラック 8位

2年女子トラック 8位

●ソフトテニス

【滋賀県高等学校ソフトテニス選抜インドア大会予選】

○男子 小森 辻 ベスト32

○女子 前田・澤田 ベスト8

【令和5年度高校交流戦大会】

○女子 中村・前田 2位

●剣道

【滋賀県高等学校剣道優勝大会】

○女子 ベスト8

●卓球

【第77回近畿高等学校卓球選手権大会】

○男子 学校対抗 出場

○女子 シングルス 種村 享奈 出場

●硬式野球

【秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会】

○男子 ベスト8

【令和5年度滋賀県高校野球1年生大会】

○男子 ベスト4

●フィギュアスケート

【秋季総合体育大会スケート(フィギア)の部】

○ジュニア選手権 女子 優勝

【令和5年度全国高等学校総合体育大会 第73回

全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会】

○出場

スノーボード

【スロープスタイル国際大会(COWDAY SLOPE 2023)】

○優勝 小谷 結衣

●文化部

地域連携活動をしています。

吹奏楽部 滋賀県吹奏楽コンクール小編成の部 銀賞

軽音楽部 第1回滋賀県冬季高等学校軽音楽大会 奨励賞 「♡味る♡」

ベストプレーヤー賞 川崎 真衣

第1回滋賀県高等学校軽音楽新人大会 優秀賞 華燈

イラスト部 黒板アート甲子園大会 参加賞

eスポーツ研究会 STAGE:O 高校生大会

forthe部門 出場

valorant部門 出場

NASEF JAPAN 全日本高校eスポーツ選手権

forthe部門 出場

valorant部門 出場

書道部 武道館全日本書初め大展望会

特選 岩澤 李奈

特選 松井 菜々乃

特選 平井 知子

秀作 安藤 千紘

佳作 福島 咲希

努力賞 白井 乃依



図書館便り 号外!

図書館では、今年度次のような活動を行いました。

図書館ライブ

軽音楽部と合同で、七夕ライブやクリスマスライブを開催しました!

ディスプレイイベント

七夕・読書の秋・クリスマスなどをテーマとして、広報図書委員や図書館を利用する生徒に、「おすすめ本、大事な1冊」などを書いてもらい、ディスプレイしました!

イラスト展示

図書館の本から得たインスピレーションをもとに、イラスト部員たちに作成してもらいました!



他にも、読書感想文の校内コンクール実施や先生のおすすめ本紹介コーナーの設置、図書カードがもらえるスタンプラリーを実施しました。今後も図書館を利用したくなるような仕掛けをしていくので、楽しみにしてください!

シアターラーニング

11月24日(金)、音楽座をお招きして6年ぶりにシアターラーニングを行いました。『星の王子様』を通して、夢を持つこと、他者との関わり、表現することなど、生徒一人ひとりがそれぞれの学びを得られたと思います。また、劇を鑑賞するだけでなく、生徒たちが舞台に上がって役を演じたり、体を動かして活動したり、体験的な時間もありました。最後は生徒と舞台が一体となり、一つの作品をつくりました。

自分たちも参加しながらできる新しいミュージカルでした。実際にあった話も混ぜながらしていたので感動もあり色々な感情が湧きました

自分を表現するのに難しいと感じることがあるかもしれないけどその一歩を踏み出す事が大切だと学びました。

想像していた以上に楽しかったです。夢を思うことは大切だということを改めて学びました。ただ聞くだけではなく、自分たちも参加できたことがすごくいいなと思いました。

私は様々な人と関わることの大切さに気づき、また、人と上手く関わるための方法や気持ちの持ち方について学びました。

みんなで1つのことを作り上げることは大変だけどその分楽しいという事を学びました。



新施設紹介

体育館スタジオ



大型の鏡を設置したスタジオです。スポーツ健康コースの講義や、部活動でも使用しています。

保育実習室



沐浴実習や子どものおもちゃづくりなど、保育に関する実践的な学びができる施設です。

後援会だより

今年度は、後援会として、「プロジェクトエクター、スクリーン」の寄贈を行いました。
また、新しい取り組みとしてランチに対する価格補填を行い「後援会ランチセット」を提供しました。こちらは生徒にとっても好評で連日完売となりました。なお、例年通り【部活動補助】として、主に試合等のバス利用補填も行いました。
これらの支援事業は後援会活動にご理解いただいているからこそ実現するものであり、感謝の念に堪えません。
最後になりますが、今年度の特別会員としてご協力いただきましたお取引先様を次のとおりご報告いたします。

特別会員一覧 (順不同)

- 株式会社 明石スクールユニフォームカンパニー 一刻
- 牛丸電気設備管理事務所
- 株式会社 大津給食センター
- 株式会社 オーティンシー
- 株式会社 大沼保険事務所
- 株式会社 かんてんエンジニアリング
- キステム 株式会社
- 木村文具
- 京都エレベーター 株式会社
- 株式会社 久木野工務店
- KDDI まとめてオフィス関西 株式会社
- 株式会社 コンピュータームーブ
- 佐々木印刷 有限会社
- 株式会社 さんぽう
- 株式会社 JTB 西日本
- 株式会社 修仁カンパニー
- 株式会社 新日本教育シユーズ
- 株式会社 杉原商店
- 有限会社 竹田騰写堂
- 株式会社 辻中
- 有限会社 西村商店
- 日本カラーフोटスタジオ株式会社
- ホーチキ 株式会社
- 株式会社 増山工務店
- マルトリビック 株式会社
- 株式会社 マルコネ
- 株式会社 美津和商会 滋賀支店

編集後記

多くの方の協力、特に先生方の協力のもと一〇六号・一〇七号を発行することが出来ましたこと、本当に感謝いたします。
新型コロナウイルス感染症が5類となり、子ども達の活動も広がり、たくさん笑顔を見ることができました。
2024年元日、能登半島地震が起き心配で大変な幕開けとなりましたが、これからも、子どもたちが自由に活動ができ、笑顔溢れる学校生活が続きますようお願いしております。ありがとうございました。

広報委員長 山崎 欣実